

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0174600692		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム すずらん		
所在地	北海道帯広市東11条南5丁目1番26 (電話) 0155-20-6220		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月18日	評価確定日	平成22年1月12日

【情報提供票より】(平成21年12月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年8月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	12人, 非常勤 8人, 常勤換算 13.25人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨カラー鉄板葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	23,500円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,400円		月額 42,000円	

(4) 利用者の概要(12月8日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	7名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	5名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 80.3歳	最低	70歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団イワタクリニック・医療法人社団大江病院・つがやす歯科医院
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内の閑静な住宅街の中に広い敷地が用意されている鉄骨造り2階建ての2ユニットのグループホームです。ホーム前の広い敷地を資源ゴミ回収の集積所やラジオ体操の場所として提供していたり、新年会やお花見、野遊会等町内会行事や活動にも積極的に参加し、地域の人々との交流を図っています。利用者の認知症状や身体機能も年々低下が見られホーム行事の参加や外食も難しくなっていますが、個別に対応したり、家族の協力を得ながら継続出来るように支援しています。また、残存能力や意欲を引き出せるように、貼り絵やぬり絵、ボール遊びなど一人ひとりに合ったレクリエーションに力を入れ、それぞれのペースに合わせた生活が送れるように努めています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題は運営推進会議の委員の施設見学の点でしたが、本年施設見学が実施され、ホーム機能を知って戴き、アドバイスを貰いケアサービスの質の向上に活かしています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、普段のケアを振り返る機会やホーム内研修と捉え、職員間で話し合わせ管理者がまとめて作成しています。また、外部評価の結果については、職員で話し合い具体的な改善に向けて取り組み、運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的に開催され、主な議題については ホーム運営状況の説明について 町内会行事への取り組みについて 施設見学 研修会の内容について報告 夏祭り行事開催について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	季節毎に発行する「すずらん便り」で利用者の暮らしぶりやホーム行事の様子を写真を掲載し報告しています。来訪時にはケアプランの説明や相談、近況報告を行い、状態変化があれば随時電話で報告しています。また、管理者及び職員は家族に意見や苦情・不満を話してもらいやすい雰囲気作りを心掛け、家族からの意見は全体で話し合い結果を報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム前の広い敷地を資源ゴミ回収の集積所やラジオ体操の場所として提供しており、新年会やお花見、野遊会、清掃作業などの町内会行事や活動にも積極的に参加し、地元の人々との交流を図っています。また、地域の婦人会からのタオルやウエスなどの寄贈や高校生の修学体験の実習も受け入れています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、独自の運営理念をもとに「五つの願い」「七つの誓い」を具体的目標として掲げている。また、年間目標も立てている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	名札の裏に常に法人の理念を携帯しており、ホーム長・管理者、職員は理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地を資源ゴミ回収の集積所やラジオ体操の場所として提供しており、新年会やお花見、野遊会、清掃作業などの町内会行事や活動にも積極的に参加し、地元の人々との交流を図っている。また、地域の婦人会からのタオルやウエスの寄贈や高校生の修学体験の実習も受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己評価を研修の機会と捉えた取り組みが行われている。また、外部評価の結果については、運営推進会議で報告され改善の機会として利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に開催されている。委員は、利用者家族、町内会会長、民生委員、老人クラブ会長、ホーム長及び管理者・職員で構成され、行事報告やホームの運営状況報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市とは日常業務を通じて現状報告や相談ごとなどの意見交換をして共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「お便り」で健康状態を伝えており、季節毎に発行する「すずらん便り」では利用者の暮らしぶりやホーム行事の様子を写真を掲載し報告している。また、来訪時にはケアプランの説明や相談、近況報告を行い、状態の変化があれば随時、電話で報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時には、意見や苦情・不満を話してもらいやすい雰囲気作りを心掛け、そこでの意見や苦情は全体で話し合い結果を報告している。また、外部・内部の苦情の窓口をポスターや重要事項説明書に記載し、家族に説明している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム長及び管理者は、職員の異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。また、職員の異動などで利用者に影響を与えないように引き継ぎなどの点に配慮して利用者へのダメージを防ぐ取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>十勝支庁や帯広市、グループホーム協議会など外部研修参加を推進しており、管理者は介護福祉士会やケアマネージャー連絡協議会などの研修会などにも積極的に参加している。また、法人内の内部研修会も実施しており、資格取得には法人も積極的に支援している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会での勉強会や研修会での交流、同一法人内の他施設との連携が行われ、それらの活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>納得した上でサービスを利用するために事前に家族や本人にホームの見学を勧めており、少しでも安心して過ごしていただけるよう、家族と相談して協力を仰ぎ、徐々にホームに馴染んで貰えるよう取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は日頃から利用者との会話の中で昔の歌や思い出話をして喜怒哀楽を共にしている。また、利用者と料理方法や味付け、洗濯物たたみや裁縫などを一緒に行い、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式で本人や家族の状況、要望を把握し、希望に応じて、散歩やスーパーへの買い物、外食やドライブ、通院など柔軟に支援を行い、本人が希望する生活が営めるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、その人らしく暮らすための課題とケアのあり方について、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブなど、なるべく本人の希望が実現できるように柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が希望するかかりつけ医に受診できるように支援しており、希望や要望に応じた往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。また、常勤の看護職員が配置され、かかりつけ医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、ホームで可能な限り対応し、医療機関と連携を密にして利用者・家族とも早い段階から話し合いをしながら慎重に対応するよう職員間で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の取り扱いについても、十分に注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの今の気持ちを尊重し、日常の散歩や買い物も、ホーム行事への参加、食事の準備や後片付け、掃除の手伝いや入浴など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒に準備、食事、片付けを行っており、利用者の好みや食べたい物を把握し、定期的に希望を聞いて自由献立として提供している。また、外食の支援も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、週2回を目安に利用者の体調を踏まえて、希望やタイミングに合わせて、柔軟に支援している。また、拒否の強い利用者にも根気よく対応して無理強いしないように入浴を楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や希望に応じて、買い物や調理や食事の準備、畑作業、掃除などの役割ごとや貼り絵やぬり絵、ボール遊びや歌などの気晴らしのための支援も行われている。また、散歩やドライブなどの外出の支援もしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は出来るだけ戸外に出かけられるように心掛け、日常の散歩・日光浴・買い物、外食など希望に添えるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員は、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の安全面に配慮している。また、利用者の状況・行動を把握して安全に暮らせる支援に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置されており、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように年2回避難訓練を実施している。緊急時対応マニュアルや緊急連絡網を作成し、緊急時に備えた非常食も2週間分保管され対応されている。また、町内会との連携も働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導のもと栄養バランスやカロリーを把握されており、一人ひとりの体調に合わせた食事を提供している。又、具体的な食事摂取量・水分補給量も記録され対応されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム前の敷地は広く、地域活動での資源ゴミ回収の集積所やラジオ体操の場所として提供している。また、ホーム内の共用空間は広くゆったりとしたスペースが確保され、壁には行事の際の写真や季節感を感じられる草花が飾られている。居室や居間は、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家族の写真や手芸作品などを飾り、使い慣れた家具やテレビなども持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。